

「城下町洲本レトロなまち歩き」

自治体情報 兵庫県洲本市

人口 / 47,833人 標準財政規模 / 13,736百万円

担当課 企画情報部商工観光課
電話番号 直通 0799-24-7613
実施主体 城下町洲本再生委員会
関連ホームページ <http://sumoto-retro.blogspot.com/>

事業期間 平成24年度
関係施策分類 ①、②、③、⑥

予算関連データ

総事業費：5,100千円

名称	所管	金額(千円)
まちなか振興モデル事業補助金	兵庫県	2,800
洲本市補助金	洲本市	1,400
自己資金	城下町洲本再生委員会	900

施策のポイント

地域住民や商店関係者、商工会議所等、住民レベルで立ち上げた委員会が主体的に、地域の空き家や空き店舗を利活用し、城下町のレトロな雰囲気漂うまちなみを再度活気づけ、多くの人にまちの魅力と可能性を感じてもらおうと企画したイベント。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

洲本市（市内中心部）は、室町時代後期に三熊山山頂に築城された洲本城の城下町として栄えてきた。市内中心部にはそのような城下町の雰囲気漂う建物だけでなく、明治、大正期のレトロな建物も混在し、市内中心部は淡路島の中心的なまちとして産業、商業等の栄える、賑わいのあるまちであった。

しかし、現在においては大型商業施設の立地等に伴い、地元商店の廃業は加速化し、空き店舗（空きテナント）が顕著に見られるようになった。また、同時に市内中心部における人口の流出、高齢化にも拍車がかかり空き家も増加してきている。

そのような背景の中、今回のイベントでは、城下町、レトロなまちなみを地域資源に空き家、空き店舗を利活用し、島内外から多くの人に来てもらい、まちの再活性化、まちの魅力の再発見を通じて、新しい雇用の場や起業の支援、都市部等との移住交流を図ることを目的としている。

2. 取組の具体的内容

平成24年10月20日（土）、21日（日）の2日間に市内（中心部）の町家が残るレトロな通りで空き家、空き店舗を利活用し、カフェ、アート展示、ハンドメイド商品の販売等のバザールを開催。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

まち歩きを通じて、まちの魅力を高め、訪れる人が何度でも訪れたい、住んでみたいと思わせるような効果を期待し、その結果として、新たな雇用や起業、移住や交流が促進されること。

4. 現在までの実績・成果

平成24年4月28日（土）、29日（日）に行った同イベントでは、2日間で島内外から8,000人近くの来場者があった。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

イベント開催までの組織づくりや空き家、空き店舗所有者等との調整、イベントの準備、実施に係る資金面の課題があったが、先に（4月）実施したイベントの効果、反響の大きさから、今回は行政もイベント実施主体に対してのサポート（資金面も含め）を行い、官民協働のもと実施体制を組んでいる。

6. 今後の課題と展開

- 単に一過性のイベントとして終わらせない。
- まちづくりへの地域住民の関心を高め、地域の課題は地域が主体的に解決していく足掛かり（最たる事例）となるような展開を期待したい。